

みんなで取り組む防災・減災

ねっちゃんの防災知恵袋

大雨災害に備える「線状降水帯」

こんにちは、ねっちゃんです。
夏休みは終わりましたが、まだまだ大雨に警戒が必要な時期は続いています。

毎年全国各地で大雨の被害をもたらしている「線状降水帯」。田原市でも昨年9月と今年の6月に被害を受けました。

「線状降水帯」とは、次々と発生する発達した雨雲が列をなし、数時間にわたってほぼ同じ場所を通過または停滞することで作り出される、長さ50〜300km、幅20〜50km程度の強い降水をとまなう雨域を言います。線状降水帯が発生すると、大雨災害発生の危険度が急激に高まります。

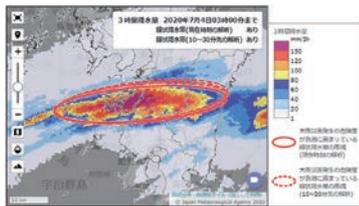
田原市では、5月に各世帯にハザードマップを配布させていただきました。自宅や勤務先の周辺、よく行く場所に危険がな



いか、事前にチェックしておくことで、災害が発生する前にいち早く避難行動をとることができます。

いざという時に自分自身や家族はもちろん、地域も守れるように備えておきましょう。

●線状降水帯の気象図(出典:気象庁HP)



【ポイント】
線状降水帯が発生すると赤い楕円で示されます。

防災対策課

☎2333548



◀市HP
ハザードマップはスマートフォンからも見ることができます



環境戦隊たはらエコレンジャー

環境けいじばん

令和4年度のごみ量報告
さらにごみを減らそう！

皆さんのごみの減量・分別に対するご理解とご協力のおかげで、炭生館に運ばれるもやせるごみの量は減ってきています。皆さんのご協力に感謝いたします。

これからもごみの減量をよろしくごみん。

●炭生館ごみ量(年度別)

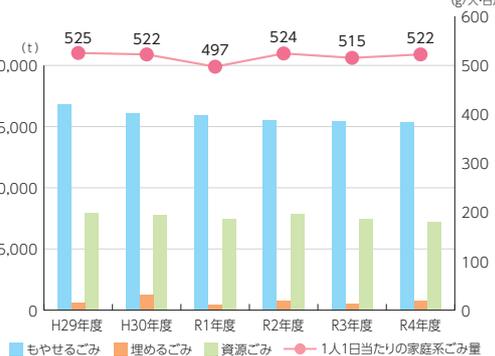


分別していただいた資源ごみは売却し、令和4年度は約9400万円が本市の収入になっており、収益は、ごみ収集などの

費用に活用しています。

令和4年度の1人1日当たりの家庭系ごみの量(資源ごみ類除く)は522gでした。埋めるごみの量の増加に伴い、わずかではありますが増加しました。

●1人1日あたりのごみ量とごみ総排出量の推移



紙やプラスチックを「もやせるごみ」としてではなく、「資源ごみ」としてリサイクルするなど、日頃の小さな工夫からごみを削減しましょう！

廃棄物対策課

☎2333538